

キングモンクット工科大学サマープログラムの学生 25 名が福岡県庁を表敬訪問



服部誠太郎副知事

福岡工業大学と協定校のタイ王国キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL) の学生 25 名が、福岡県庁に服部誠太郎副知事を表敬訪問しました。福岡県はタイの首都、バンコク都 (タイ王国) と平成 18 年に友好提携を結び、以来様々な交流が続いています。服部副知事は歓迎の挨拶に続けて、本学と KMITL が毎年サマープログラムで交流していることに感心され、今後ますます発展させて下さいと激励されました。本年は工学部 15 名と産業教育学部日本語学科 10 名が参加しています。訪問団を代表して大谷常務理事がサマープログラムの内容を紹介、KMITL を代表してサタポン・プロムオン工学部教授が挨拶をされました。工学部学生の代表チャンポーム タナクリットさんと産業教育学部日本語学科代表ホームタロップ トウンダラーさんは今回の体験を将来に向けて活かしていきたいと決意を述べました。サマープログラムは 6 月 29 日まで行われ、本学での研修、学外研修、研究室訪問、インターンシップ (職場体験) 等を行います。



大谷常務理事



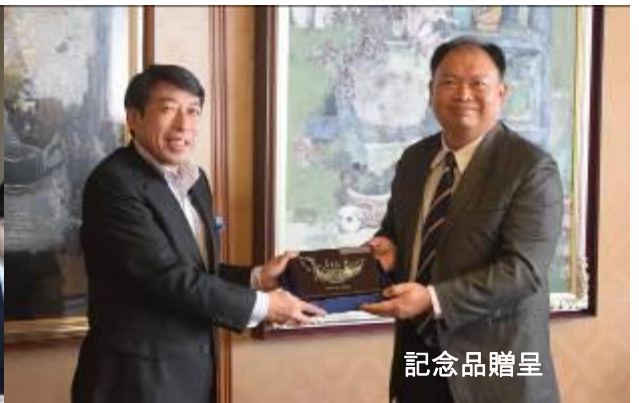
サタポン・プロムオン工学部教授



チャンポーム タナクリットさん



ホームタロップ トウンダラーさん



記念品贈呈

